

「市町村における児童手当関係事務処理について」新旧対照表

新	旧
<p style="text-align: center;">市町村における児童手当関係事務処理について</p> <p>(前文) (略)</p> <p>(別添)</p> <p style="text-align: center;">児童手当市町村事務処理ガイドライン</p> <p>第1条～9条 (略)</p> <p>第10条 規則第1条の4第1項の請求書(以下「認定請求書」という。)の提出を受けたときは、次により処理するものとする。</p> <p>一～四 (略)</p> <p>2 認定請求書の記載事項については、次により審査するものとする。</p> <p>一 認定請求書の記載事項を公簿等(マイナンバー制度による情報連携を含む。)及び添付書類により確認することとし、次のア～キについては、特に留意すること。</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 請求に係る児童のうちに請求者の住所地の市町村の区域外に住所を有する児童(法第3条第3項に規定する施設入所等児童を除く。)があるときは、規則第1条の4第2項第1号の規定に基づき添付される当該児童の住民票の写し又は住民票記載事項証明書であって、当該児童が世帯主である場合にはその旨、当該児童が世帯主でない場合には世帯主との続柄が記載されたもの及び同項第3号の規定に基づき添</p>	<p style="text-align: center;">市町村における児童手当関係事務処理について</p> <p>(前文) (略)</p> <p>(別添)</p> <p style="text-align: center;">児童手当市町村事務処理ガイドライン</p> <p>第1条～9条 (略)</p> <p>第10条 規則第1条の4第1項の請求書(以下「認定請求書」という。)の提出を受けたときは、次により処理するものとする。</p> <p>一～四 (略)</p> <p>2 認定請求書の記載事項については、次により審査するものとする。</p> <p>一 認定請求書の記載事項を公簿等及び添付書類により確認することとし、次のア～キについては、特に留意すること。</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 請求に係る児童のうちに請求者の住所地の市町村の区域外に住所を有する児童(法第3条第3項に規定する施設入所等児童を除く。)があるときは、規則第1条の4第2項第1号の規定に基づき添付される当該児童の属する世帯の全員の住民票の写し及び同項第3号の規定に基づき添付される書類(様式第6号の2)により、児童と同居している者の状況等を確認すること。</p>

「市町村における児童手当関係事務処理について」新旧対照表

新	旧
<p>付される書類（様式第6号の2）により、児童と同居している者の状況等を確認すること。</p> <p>ウ～キ（略）</p> <p>二（略）</p> <p>3～4（略）</p> <p>第11条 規則第1条の4第3項の請求書（以下「認定請求書（施設等受給資格者用）」という。）の提出を受けたときは、前条第1項各号の規定の例により処理するものとする。</p> <p>2 認定請求書（施設等受給資格者用）の記載事項については、次により審査するものとする。</p> <p>一 認定請求書（施設等受給資格者用）の記載事項を公簿等（<u>マイナンバー制度による情報連携を含む。</u>）及び添付書類により確認すること。特に、規則第1条の2第1項に規定する短期間の委託が行われている者若しくは同条第2項各号のいずれか、同条第3項又は第4項に掲げる短期間の入所をしている者又は施設に通う者は施設入所等児童に該当しないこととなるので留意すること。</p> <p>二（略）</p> <p>3～4（略）</p> <p>第12条～第15条</p> <p>第16条 額改定届又は額改定届（施設等受給者用）の提出がない場合においても、公簿等（<u>マイナンバー制度による情報連携を含む。</u>）によって支給額を減額すべきものと確認したときは、職権により支給額を改定するとともに、次により処理するものとする。</p> <p>一～二（略）</p>	<p>ウ～キ（略）</p> <p>二（略）</p> <p>3～4（略）</p> <p>第11条 規則第1条の4第3項の請求書（以下「認定請求書（施設等受給資格者用）」という。）の提出を受けたときは、前条第1項各号の規定の例により処理するものとする。</p> <p>2 認定請求書（施設等受給資格者用）の記載事項については、次により審査するものとする。</p> <p>一 認定請求書（施設等受給資格者用）の記載事項を公簿等及び添付書類により確認すること。特に、規則第1条の2第1項に規定する短期間の委託が行われている者若しくは同条第2項各号のいずれか、同条第3項又は第4項に掲げる短期間の入所をしている者又は施設に通う者は施設入所等児童に該当しないこととなるので留意すること。</p> <p>二（略）</p> <p>3～4（略）</p> <p>第12条～第15条</p> <p>第16条 額改定届又は額改定届（施設等受給者用）の提出がない場合においても、公簿等によって支給額を減額すべきものと確認したときは、職権により支給額を改定するとともに、次により処理するものとする。</p> <p>一～二（略）</p>

「市町村における児童手当関係事務処理について」新旧対照表

新	旧
<p>第17条～第19条（略）</p> <p>第20条 規則第6条の届書の提出を受けたときは、次により処理するものとする。</p> <p>一 受給者が一般受給者である場合は、受給者又は児童の氏名及び住所（受給者が法人である場合は主たる事務所の所在地）等を公簿等（<u>マイナンバー制度による情報連携を含む。</u>）及び添付書類により確認すること。</p> <p>二～三（略）</p> <p>第21条（略）</p> <p>第22条 受給事由消滅届の提出がない場合においても、公簿等（<u>マイナンバー制度による情報連携を含む。</u>）によって児童手当等の支給事由が消滅したものと確認したときは、職権に基づいて前条の規定の例により処理するものとする。次の場合は、それぞれ職権に基づく処理を行うことができるものであること。</p> <p>一～五（略）</p> <p>第23条～第33条（略）</p> <p>第34条 本ガイドライン施行前の児童手当関係事務処理については、なお従前の例による。</p> <p><u>2 情報連携の本格運用開始までの試行期間における添付書類の取扱いについては、「情報提供ネットワークシステムの運用開始について」（平成29年4月21日府番第77号・総官企第227号通知）によるものとする。</u></p>	<p>第17条～第19条（略）</p> <p>第20条 規則第6条の届書の提出を受けたときは、次により処理するものとする。</p> <p>一 受給者が一般受給者である場合は、受給者又は児童の氏名及び住所（受給者が法人である場合は主たる事務所の所在地）等を公簿等及び添付書類により確認すること。</p> <p>二～三（略）</p> <p>第21条（略）</p> <p>第22条 受給事由消滅届の提出がない場合においても、公簿等によって児童手当等の支給事由が消滅したものと確認したときは、職権に基づいて前条の規定の例により処理するものとする。次の場合は、それぞれ職権に基づく処理を行うことができるものであること。</p> <p>一～五（略）</p> <p>第23条～第33条（略）</p> <p>第34条 本ガイドライン施行前の児童手当関係事務処理については、なお従前の例による。</p>

